



◀簡易製鉄炉へ砂鉄を投入し、日本古来の製鉄法を体験。▼真っ赤に熱した鉄を打ってペーパーナイフ作りに挑戦！



第13回 令和のふいご祭（まつり）

ふれあいまつりと同時開催で、第13回令和のふいご祭（伯耆国たたら顕彰会、奥日野たたらの里づくりプロジェクト実行委員会主催）が、10月24日に開催されました。

会場では、「ミニたたら操業」が行われ、来場客は砂鉄の投入体験をするなど、たたら操業を疑似体験しました。また、これまでのミニたたら操業による鎩（けら）から生まれた長さ約35センチの短刀の特別展示や、都合山たたら跡発掘調査成果なども展示されました。



◀ミニたたら操業による鎩から生まれた短刀。古刀・古伯耆に倣い渡辺美術館（鳥取市）の「有綱」を参考に製作されました。

また、町文化センターでは、短刀を製作された刀鍛冶の大橋悠史さん（鳥取市）を講師に迎え、「鎩を活かす－奥日野の短刀づくり－」と題し、短刀完成記念講演が行われました。大橋さんからは、製作のプロセスを年表によりわかりやすく紹介していただくとともに、「チャンスがあればさらにチャレンジしてみたい」との意気込みも示されました。



▲短刀の製作秘話を語る大橋さん



第49回 生きいきひのふれあいまつり



10月23日と24日の2日間、第49回生きいき”ひの”ふれあいまつりが、役場駐車場、町文化センター、山村開発センターで開かれ、多くの人でにぎわいました。

即売部門

▲▼役場前駐車場では、町内事業者などが、とれたての新鮮野菜や特産品、地元産品を使った加工品などを販売。日野の魅力にふれようと多くの人が訪れ、会場は大いににぎわいました。







▼写真や手芸品、工芸品など、地域の皆さんが制作した作品が数多く展示。日野学園やひのっこ保育所、各種団体の日ごろの活動報告も展示されました。







展示部門



▼町文化センターでは迫力あるプラレールの展示もあり、子どもたちに大人気！

メインステージ



▲力強い太鼓の音が会場に響き渡り、来場者の目は釘付けに！









◀▲マリン・ランチャーズによるバンド生演奏。ひのっこ保育所の園児たちは、縄跳びを使った演技と、かわいいダンスで会場を盛り上げてくれました。

芸能部門

▼町文化センターでは、日野学園の傘踊りや吹奏楽、町内の合唱団、オカリナ教室による演奏、ストリートダンスなどが披露されました。







